

五輪の山すべり初め

コロナ禍で臨時休業が続いていましたが、5月中旬から少しずつ子供たちの登校が始まり6月1日から正式に学校再開になりました。併せて「五輪の山」が完成し、1日の朝会で「五輪の山すべり初め」を行いました。朝会の中で、1年生の

代表の子供が、できたばかりの低い滑り台を滑り、6年生が持つ花のアーチをくぐりました。また、たんぽぽ学級の1年生は、安全を確保するように修理をした高い滑り台からすべり初めをして同じく花のアーチをくぐりました。

左 6月2日
静岡新聞

下 6月2日
中日新聞



学校名、所在地の変遷

大正 9 年 4 月現在の場所に県居小学校が開校しました。その時は、濱松市縣居尋常小学校という名前でした。住所も、当時の地番で浜松市東伊場町 88 となっていました。戦災があつたり学校の制度などが変わったりすることで、学校の名前、地番、所在地も変わってきました。

大正 9 年 4 月 1 日	濱松市縣居尋常小學校	東伊場町 88
大正 11 年 4 月 1 日	濱松市縣居尋常高等小學校	高等科併置のため
昭和 6 年 3 月 31 日	濱松市縣居尋常小學校	高等科が廃止されたため
昭和 16 年 4 月 1 日	濱松市縣居國民學校	
昭和 22 年 4 月 1 日	濱松市立縣居小學校	(濱松市立県居小学校)
昭和 22 年 6 月 28 日	浜松市鴨江町 71 番地の 1 (西小学校跡地)に移動	
昭和 28, 29 年	現在の場所に戻る	浜松市東伊場町 88 の 8
昭和 43 年 7 月 1 日	浜松市東伊場二丁目 5 番 1 号	地番の変更のため
平成 19 年 4 月 1 日	浜松市中区東伊場二丁目 5 番 1 号	

その間、一貫して「県居(縣居)」の名が校名につけられています。開校以来、賀茂真淵翁の教えを受け継ぎ、賀茂真淵を誇りに思う地域の心の表れと考えます。

校地の移動

県居小学校の歴史の中で大きな出来事の 1 つは昭和 22 年に鴨江町(西小学校跡地)に一時的に移動したことではないでしょうか。

沿革誌をまとめると、以下のようになります。

昭和 20 年 6 月 18 日 空襲で全校舎焼失 児童 12 人死亡
昭和 20 年 7 月 3 日より分散教育を行う
森田班 西伊場班 東伊場班 本校班
昭和 22 年 1 月 仮校舎落成 初 1～初 5 まで 2 部構成で授業
初 6 児童は 1 年間鴨江校舎で分散教育

昭和 22 年 6 月 28 日
西小学校跡地(鴨江町 71 番地)
に一時的に移りました。東伊場の
校舎は西部中学校が使用することとなりました。

昭和 24 年 10 月 1 日
北校舎 6 教室落成

昭和 26 年 1 月 19 日
給食調理室落成

昭和 26 年 10 月 20 日
北校舎 2 教室 応接室
渡り廊下 落成

昭和 28 年と 29 年の 2 年間をかけて元の場所(東伊場町 88)に戻りました。



▲ 昭和 23 年の鴨江校舎

地域の方のお話の中に、机を持って切り通しの坂を上った思い出がある、というお話を伺うこともありました。